

2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月13日

上場会社名 株式会社MFS 上場取引所 東

コード番号 196A URL http:///www.mortgagefss.jp

代 表 者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中山田 明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 平山 亮 (TEL) 03 (5989) 0575

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	5	営業利	益	経常利	益	親会社株主 する四半期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	1, 405	163. 5	△11	_	△7	_	△16	-
2025年6月期第1四半期	533	-	39	_	38	_	28	-
(注)包括利益 2026年6	月期第1四半期	△17百	万円(—	%) 20	25年6月期第1	四半期	28百万円(—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円銭
2026年6月期第1四半期	△1.84	_
2025年6月期第1四半期	3. 19	_

- (注) 1. 当社は、2024年6月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年6月期第1 四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 - 2.2025年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 - 3.2026年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、 1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期第1四半期	2, 867	2, 243	77. 9	243. 56
2025年6月期	2, 537	2, 230	87. 7	244. 85

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 2,235百万円 2025年6月期 2,225百万円

2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計					
	円 銭	円銭	円 銭	円銭	円 銭		
2025年6月期	_	0.00	_	0.00	0.00		
2026年6月期	_						
2026年6月期(予想)	0.00 — 0.00 0						

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 :

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業	利益	経常	利益	親会社株 する当期	主に帰属 月純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3, 779	29. 6	195	△0.4	186	△6.1	146	△3.9	16. 07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年6月期1Q	9, 176, 600株	2025年6月期	9, 089, 200株
2026年6月期1Q	—株	2025年6月期	—株
2026年6月期1Q	9, 120, 550株	2025年6月期1Q	9, 072, 600株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について 当社は、2025年11月13日(木)に機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。

この説明会の資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	1)経営成績に関する説明	
(2) 財政状態に関する説明	S
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	S
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	6
	第1四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	7
	第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	
	(セグメント情報等)	8
	(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	٤

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エネルギー価格や物価上昇の影響が続いたものの、賃上げの広がりや雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の回復を背景に、総じて緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価高の長期化による個人消費の抑制懸念や、海外経済の減速、通商政策や為替変動の影響など、先行きは依然として不透明な状況にあり、引き続き政治動向および経済動向を注視する必要があります。

当社の属する住宅ローン市場におきましては、日銀の金融政策に加えて政治的背景に係る金利動向が注視される環境下にあったことから、住宅ローン商品に対して注目が集まる状況となりました。

このような事業環境の中、当社グループは、持続的な成長を目指しサービス機能拡充やマーケティングの観点での 戦略的な施策への先行投資を行うことで、事業基盤の強化を図りました。その結果、前期まで主力であったモゲチェ ック事業は金融機関のマーケティング抑制の影響を受け、次の成長フェーズに向けた再構築の段階であるなか、 INVASE事業は新しいビジネスモデルの貢献により大きな成長を遂げることとなりました。マーケティング費用や生成 AIを活用したプロダクト開発等の先行投資は、一時的に両セグメントの利益を減少させる要因となりましたが、中長 期的な成長の加速と収益力の最大化に向けた強固な基盤構築に繋がっています。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

①モゲチェック事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、モゲチェック事業は、効率的かつ継続的なマーケティング施策により広告宣伝費を抑制しつつも、金融機関が行う住宅ローンの事前審査結果をリアルタイムで推定する「モゲチェックプレ審査」のリリースに注力し顧客利用の増加につなげることができました。一部の金融機関においてマーケティング費用を抑制している影響から当事業の収益は減少となりましたが、前述のマーケティング施策により、集客数が481,956件増加(前年同期比37.2%増)し、ユーザー登録数が8,251件増加(前年同期比37.1%増)と顧客基盤の拡大は堅調に推移しました。

モゲチェックサービスの各種指標の推移

	前々第1四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年9月30日)	前第1四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2025年9月30日)
集客数(件)	1, 274, 776	1, 294, 139	1, 776, 095
ユーザー登録数 (件)	17, 534	22, 218	30, 469

モゲチェック事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は310,669千円、セグメント損失は7,287千円となっております。

②INVASE事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、INVASE事業は、継続的なマーケティングへの投資、不動産投資アプリ「INVASE Pro」のサービス機能拡充及び金融機関とのキャンペーン強化等により、会員登録数は10,156件増加(前年同期比23.0%増)となりました。

さらに、子会社であるコンドミニアム・アセットマネジメント株式会社においてビジネスモデルを仲介中心から売買中心に転換したことにより採算性が改善され、売上収益の向上に繋がりました。加えて、オフラインセミナー等の開催により当社サービスへの関心が高い顧客層へのアプローチを強化したことから、契約件数も44件増加(前年同期比61.1%増)となりました。

INVASEサービスの各種指標の推移

	前々第1四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年9月30日)	前第1四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2025年9月30日)
バウチャー集客数 (件)	100, 739	100, 313	30, 850
バウチャー申込数 (件)	2, 025	1, 353	1, 414
会員登録数累計 (人)	33, 929	44, 105	54, 261
物件の契約件数(件)	51	72	116

INVASE事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,095,244千円、セグメント損失は4,314千円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ330,454千円増加し、2,867,743千円 となりました。これは主に、現金及び預金が109,574千円増加、販売用不動産が165,630千円増加及び役員に対する長期貸付金が50,000千円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ317,066千円増加し、623,770千円となりました。これは主に、銀行借入れにより長期借入金が391,070千円増加した一方で、未払消費税等が36,652千円減少、未払法人税等が47,749千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ13,387千円増加し、2,243,972千円となりました。これは主に、利益剰余金が16,867千円減少した一方で、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金が26,220千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2025年8月14日の「2025年6月期決算短信(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想値から、現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえて修正を行っております。

詳細につきましては、本日付公表の「2026年6月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2025年 6 月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 821, 483	1, 931, 057
売掛金	264, 651	220, 122
販売用不動産	81, 798	247, 429
前払費用	31, 107	31, 045
その他	45, 276	103, 208
貸倒引当金	△1, 089	△667
流動資産合計	2, 243, 228	2, 532, 196
固定資産		
有形固定資産		
建物	1, 131	1, 131
減価償却累計額	△610	△636
建物(純額)	520	494
工具、器具及び備品	28, 605	29, 484
減価償却累計額	△17, 208	△18, 425
工具、器具及び備品(純額)	11, 396	11, 059
有形固定資産合計	11, 917	11, 553
無形固定資産		
ソフトウエア	71, 369	65, 164
無形固定資産合計	71, 369	65, 164
投資その他の資産		
投資有価証券	99, 103	99, 313
役員に対する長期貸付金	50, 000	100, 000
繰延税金資産	33, 500	31, 883
敷金及び保証金	24, 621	24, 621
投資その他の資産合計	207, 225	255, 818
固定資産合計	290, 511	332, 536
繰延資産		
株式交付費	3, 549	3, 010
繰延資産合計	3, 549	3, 010
資産合計	2, 537, 288	2, 867, 743

(単位:千円)

		(十)立・111)
	前連結会計年度 (2025年 6 月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	114, 888	110, 648
未払費用	59, 887	68, 507
未払法人税等	61, 378	13, 629
未払消費税等	55, 971	19, 318
契約負債	3, 514	6, 075
預り金	11, 063	14, 521
流動負債合計	306, 703	232, 700
固定負債		
長期借入金	_	391, 070
固定負債合計		391, 070
負債合計	306, 703	623, 770
純資産の部		
株主資本		
資本金	599, 290	612, 400
資本剰余金	2, 934, 769	2, 947, 879
利益剰余金	$\triangle 1, 308, 073$	△1, 324, 940
株主資本合計	2, 225, 985	2, 235, 338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△521	△327
その他の包括利益累計額合計	△521	△327
新株予約権	5, 120	8, 961
純資産合計	2, 230, 584	2, 243, 972
負債純資産合計	2, 537, 288	2, 867, 743

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	533, 638	1, 405, 913
売上原価	79, 637	964, 130
売上総利益	454, 000	441, 782
販売費及び一般管理費	414, 908	453, 384
営業利益又は営業損失 (△)	39, 092	△11,601
営業外収益		
受取利息	113	1, 069
ポイント収入	209	187
受取賃貸料	_	2, 452
雑収入	227	1,880
営業外収益合計	549	5, 590
営業外費用		
支払利息	712	679
株式交付費償却	538	538
不動産賃貸費用	_	486
雑損失		4
営業外費用合計	1, 250	1, 709
経常利益又は経常損失 (△)	38, 390	△7, 720
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	38, 390	△7,720
法人税、住民税及び事業税	7, 135	7, 484
法人税等調整額	2, 346	1, 617
法人税等合計	9, 482	9, 101
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28, 908	△16, 821
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失 (△)	28, 908	△16, 821

四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間

		(単位:千円)_
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	28, 908	△16, 821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	_	△327
その他の包括利益合計	_	△327
四半期包括利益	28, 908	△17, 149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28, 908	△17, 149
非支配株主に係る四半期包括利益		_

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結損益
	モゲチェック 事業	INVASE事業	計	計算書計上額 (注1)
売上高				
外部顧客への売上高	422, 168	111, 469	533, 638	533, 638
セグメント間の内部 売上高又は振替高		-	_	_
1111111	422, 168	111, 469	533, 638	533, 638
セグメント利益又は損失(△)	107, 778	△68, 686	39, 092	39, 092

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結損益
	モゲチェック 事業	INVASE事業	計	計算書計上額 (注1)
売上高				
外部顧客への売上高	310, 669	1, 095, 244	1, 405, 913	1, 405, 913
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	_
11111111	310, 669	1, 095, 244	1, 405, 913	1, 405, 913
セグメント損失(△)	△7, 287	△4, 314	△11,601	△11,601

(注)1. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しています。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

前第1四半期連結累計期間 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 (自 2025年7月1日 至 2024年9月30日) 至 2025年9月30日) 減価償却費 7,301千円 7,401千円